

6 - 7 九州西部における最近の地震活動 (1987 年 11 月 ~ 1988 年 4 月)

Recent Seismic Activity in the Western Kyushu District (November, 1987 - April, 1988)

九州大学 理学部
Faculty of Science, Kyushu University

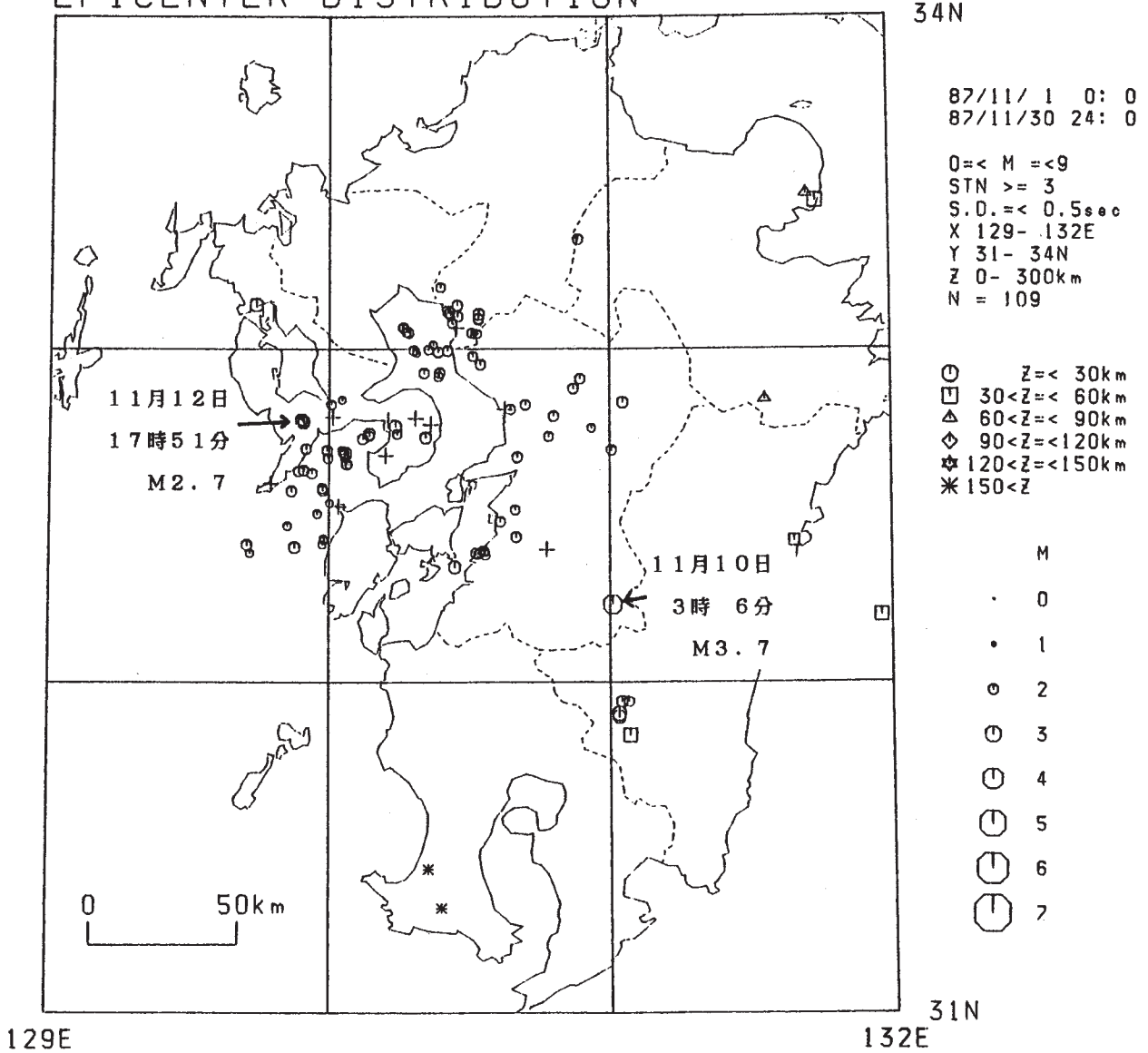
1987 年 11 月 ~ 1988 年 4 月に、島原地震火山観測所の微小地震観測網によって観測された地震の月別震央分布を、第 1 図 (A) ~ (F) に示す。

この期間、九州西部の有明海、島原半島、千々石湾周辺は静穏であり、M 4 以上の地震は発生しなかった。一方、八代周辺の日奈久断層系に沿って、やや活発な活動がみられた。以下にこの期間における九州西部の地震活動の特徴について、簡単に述べる。

- (1) 1987 年 12 月 14 日に、有明海北部で M 3.5 の地震が発生した。有明海は、従来から地震発生数の多い地域であるが、ここ数年間、規模の小さい ($M \leq 3$) ものがほとんどであった。しかし、最近やや規模の大きい地震が発生するようになった。1987 年 10 月には、有明海北東岸で M 4.2 が発生している。
- (2) 1988 年 1 月 8 日、日奈久付近に M 3.9 の地震が発生した。この地震の震央とほぼ同じところで 1986 年 7 月 28 日に M 5.0 が発生している。この付近は、断続的に小規模群発活動が続いており (第 1 図参照)、日奈久断層に沿う地震活動帯の中でも、最近特に活発なところである。さらに、2 月 24 日には、この活動域の約 10 km 北方の八代市付近で、M 4.3 の地震も発生しており、今後の動向に注意していきたい。
- (3) 1988 年 4 月 14 日に、長崎県西彼杵半島西岸で、M 3.9 の地震が発生した。この付近の活動度は極めて低く、M 4 級の地震が発生したのは、九州大学のテレメータ観測が始まってから初めてのことである。

(島原地震火山観測所)

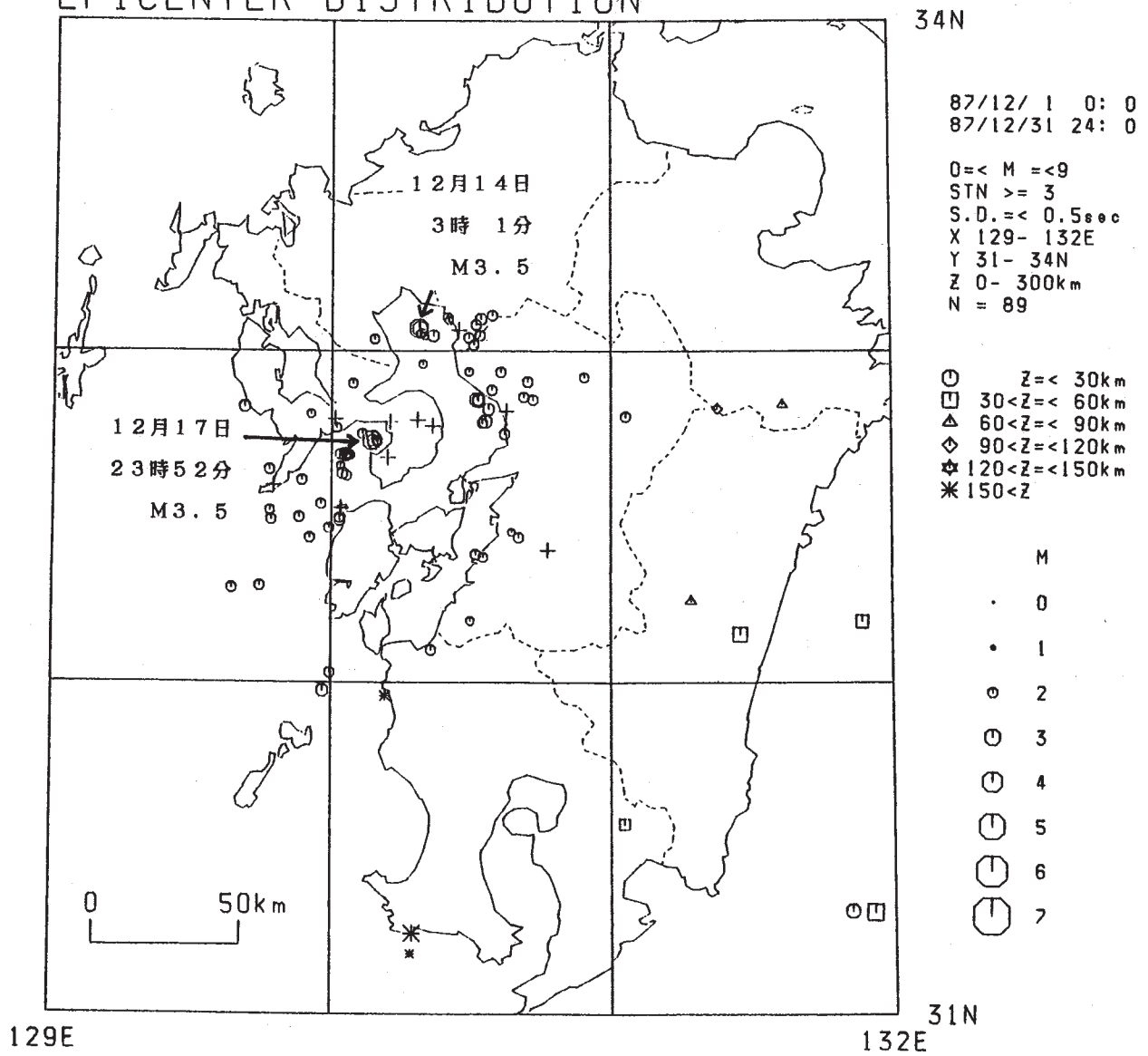
EPICENTER DISTRIBUTION



第1図 九州西部の地震の震央分布
(A) 1987年11月

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes in the Western Kyushu.
(A) November, 1987.

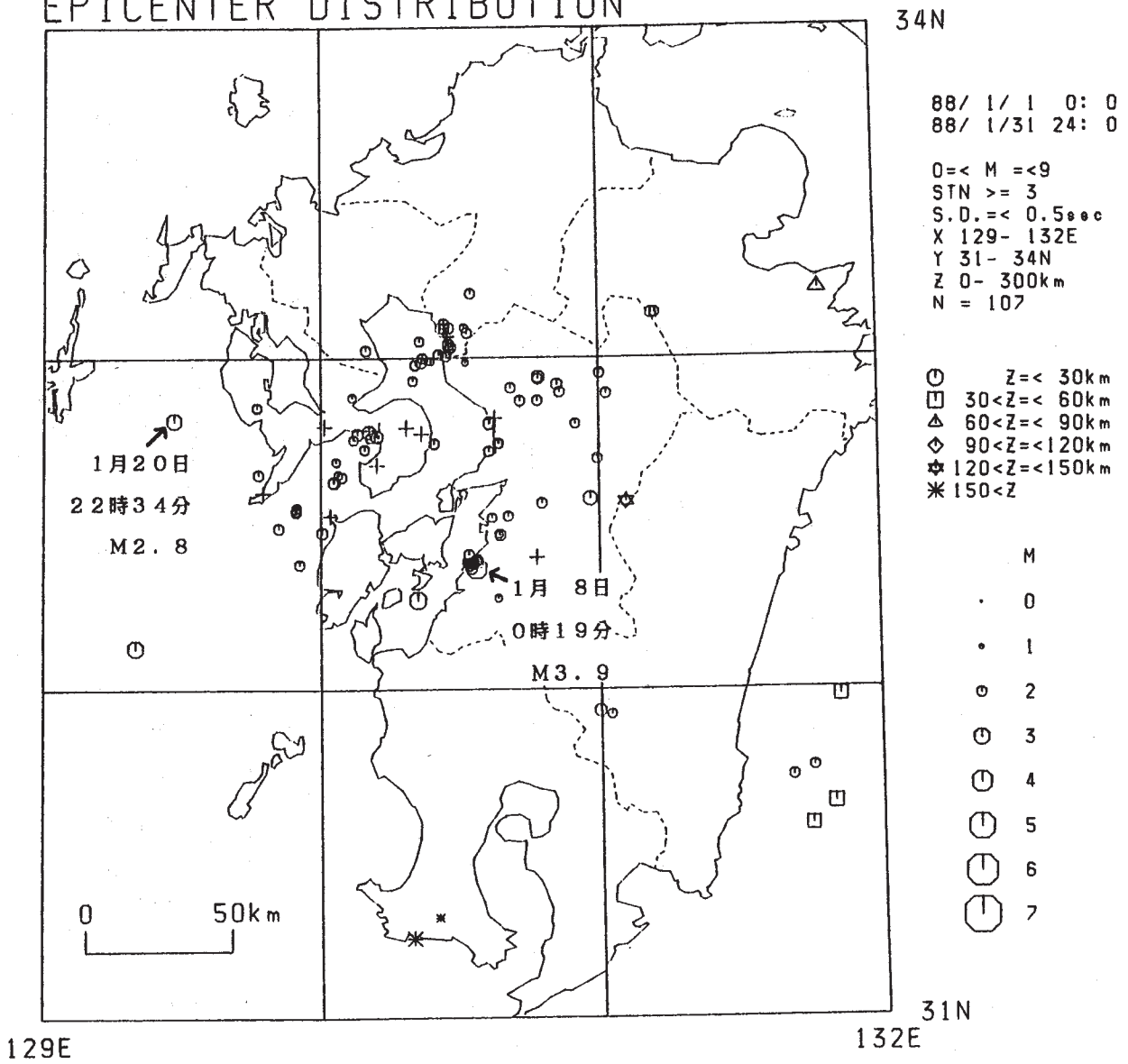
EPICENTER DISTRIBUTION



第1図つづき (B) 1987年12月

Fig. 1 (Continued) (B) December, 1987.

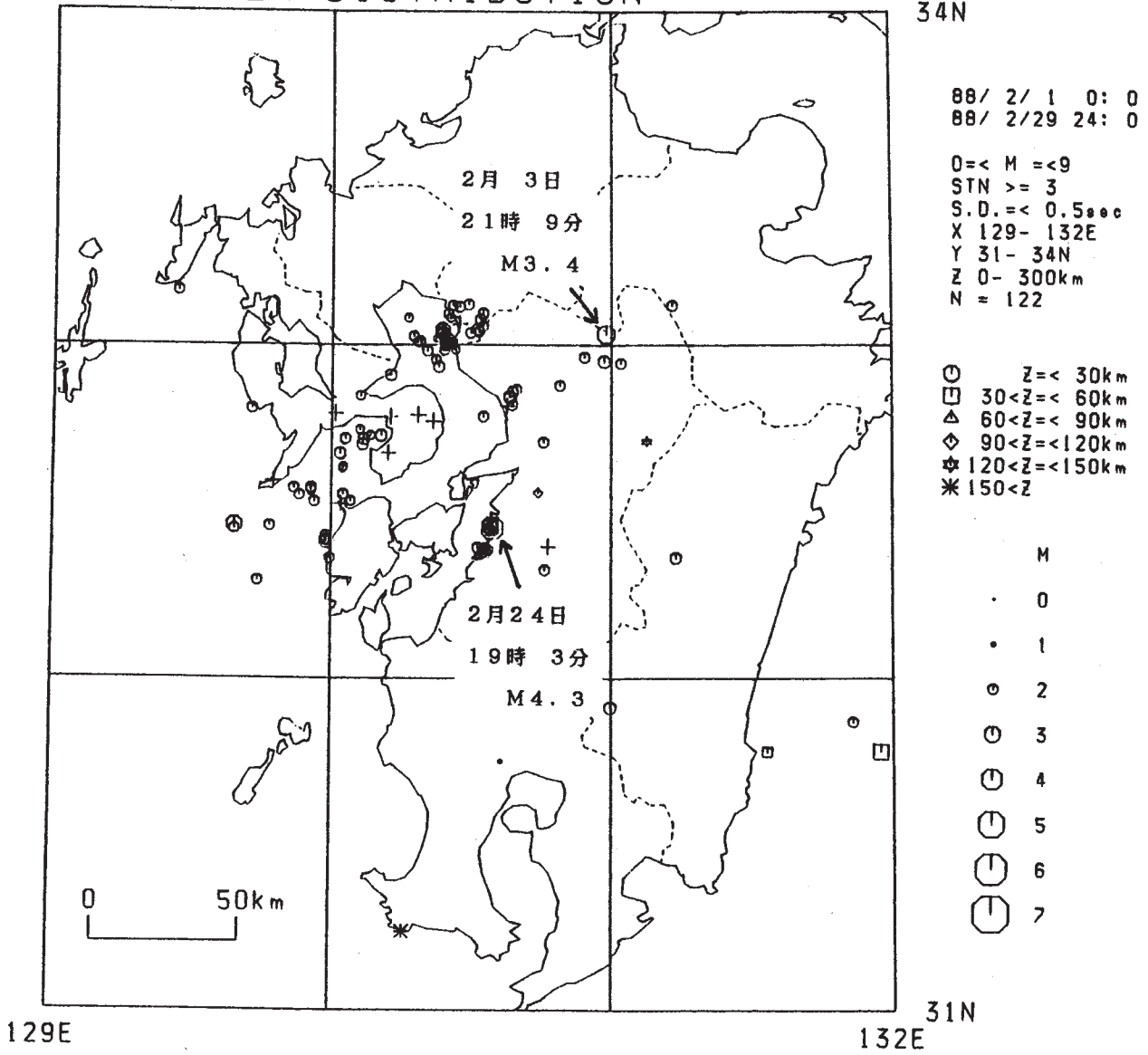
EPICENTER DISTRIBUTION



第1図つづき (C) 1988年1月

Fig. 1 (Continued) (C) January, 1988.

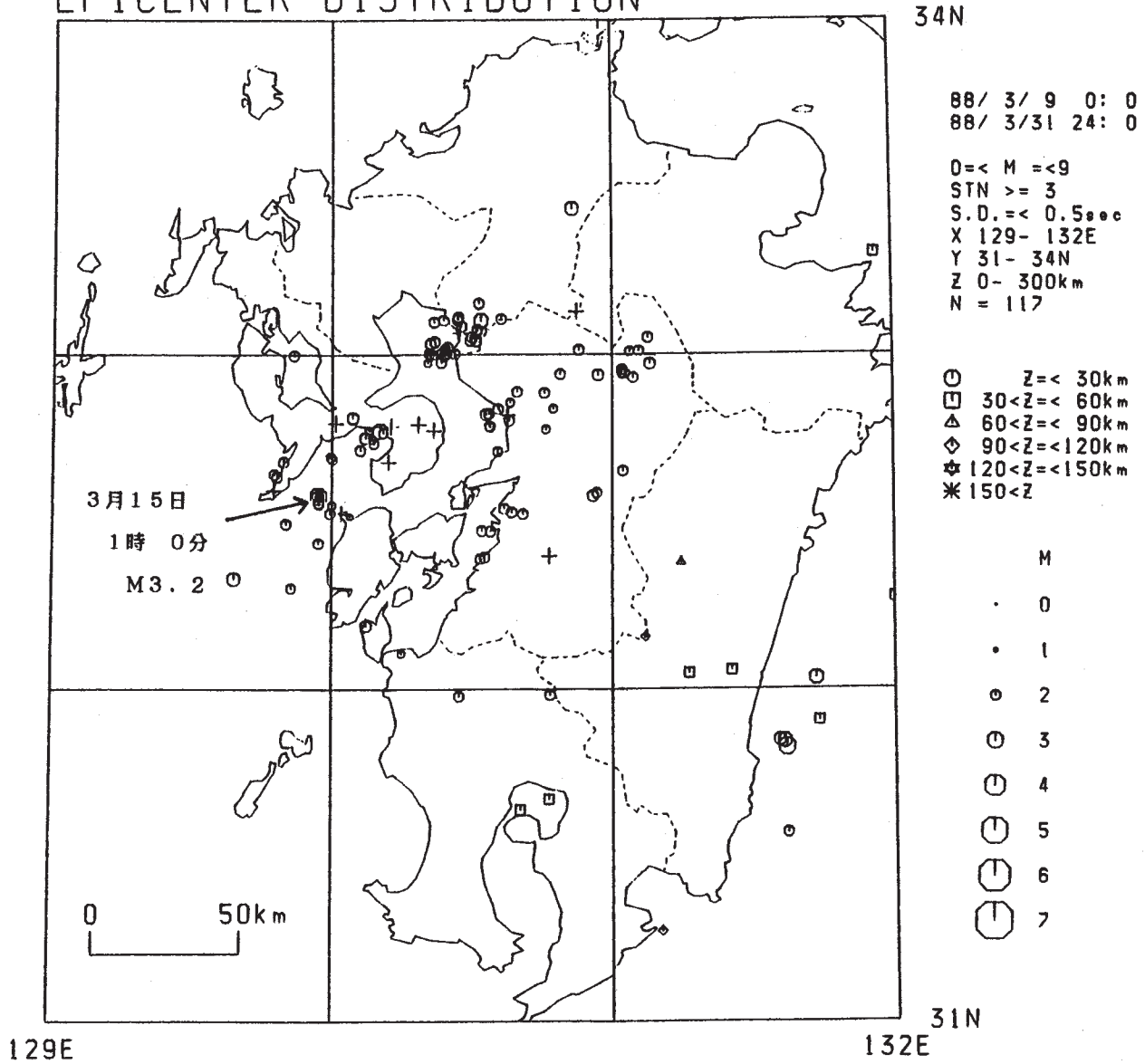
EPICENTER DISTRIBUTION



第1図つづき (D) 1988年2月

Fig. 1 (Continued) (D) February, 1988.

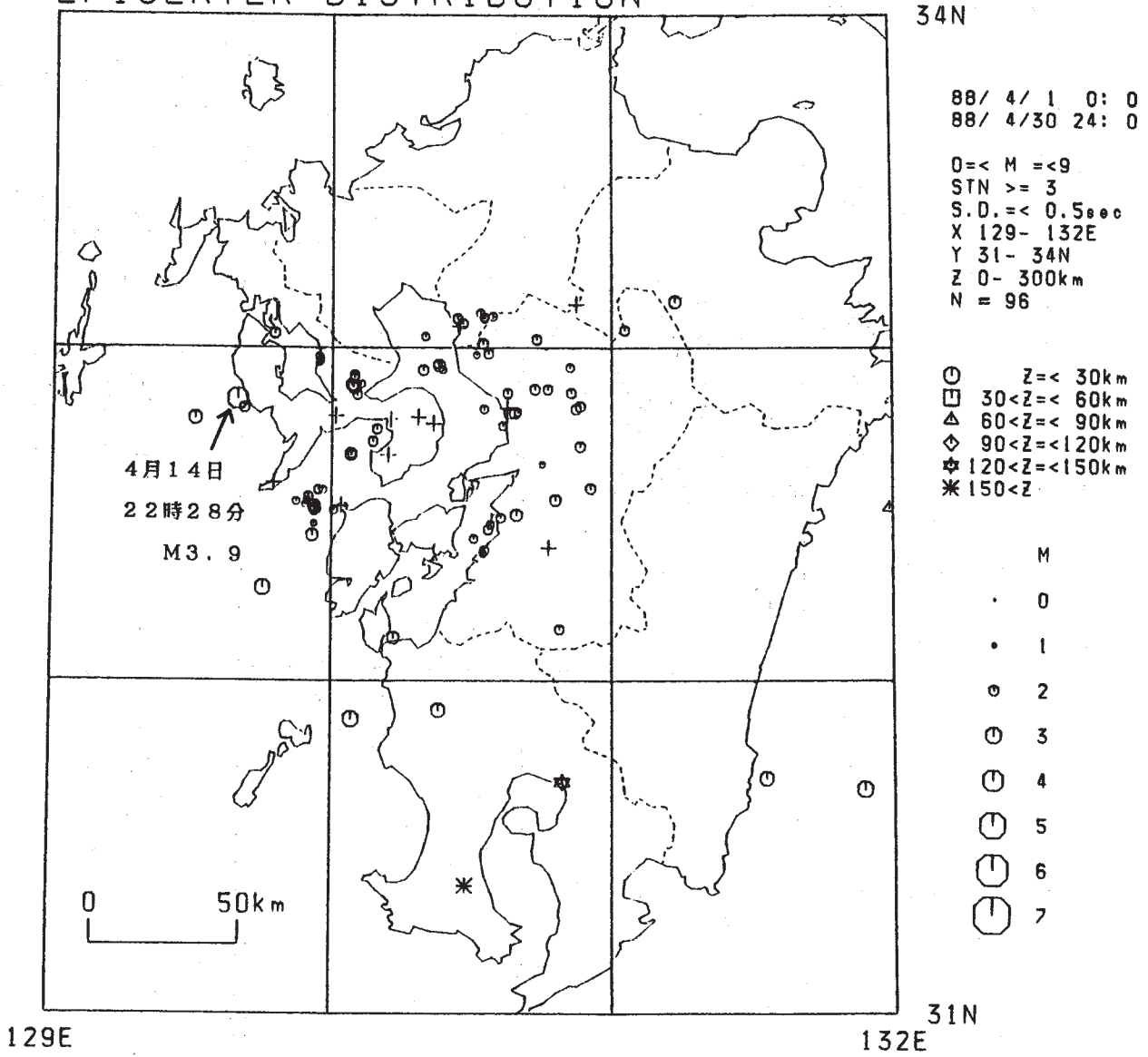
EPICENTER DISTRIBUTION



第1図つづき (E) 1988年3月

Fig. 1 (Continued) (E) March, 1988.

EPICENTER DISTRIBUTION



第1図つづき (F) 1988年4月

Fig. 1 (Continued) (F) April, 1988.